1,818×1,450／看板

東海道（京街道）枚方宿案内図

Guide Map of Hirakata-shuku [Post Town], Tokaido Road

歴史が息づくまち　枚方宿
Hirakata-shuku, an area where the breath of history is felt

徳川幕府は、17 世紀初頭から全国的に街道整備・宿駅設置を進め、東海道の延長として伏見・淀・枚方・守口の 4 宿を設けました。

枚方宿は、東見附から西見附まで 797 間 (約 1.5km)、問屋場・本陣のほか旅籠や商家など多くの町家が軒を連ねて宿場町としての賑わいを見せました。

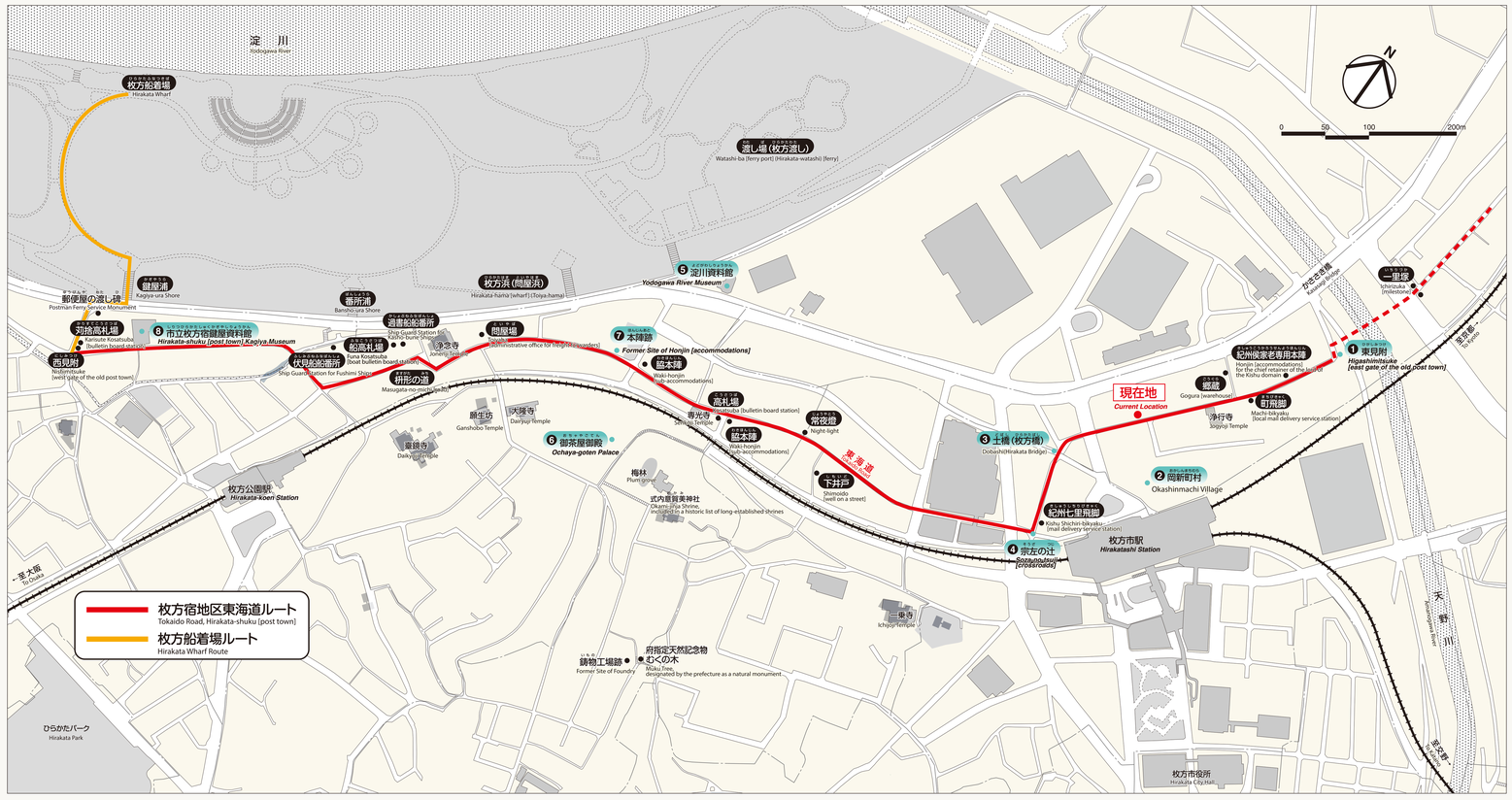
紀伊徳川家は、藩主吉宗が八代将軍に就いた後、六代藩主宗直の寛保元年 (1741) の参勤交代から、大坂・京に将軍家の権威を示すために東海道を通ることが多くなり、参府・帰国とも枚方宿に宿泊することを常としました。

また、枚方は淀川水運の中継港で米や河内木綿、菜種など物資の集散地であったため、在郷町としても繁栄し人と物が行き交う水陸交通の要衝として重要な役割を果たしました。

ふとん太鼓巡行
Futon Taiko Jungyo [Parade]

約 300 年続く伝統行事の『ふとん太鼓巡行』は、勇壮な掛け声とともに街道を練り歩き、五穀豊穣を願い意賀美神社に奉納するために行われた秋祭りです。

もともと河内地方は綿花栽培が盛んな所で、ふとん太鼓上部の赤いふとん飾りは、それを象徴していると言われています。

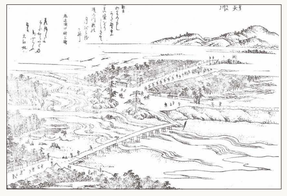


今も残る町家
Townhouse that still remains today

街道部筋には町家が点在し、出格子や虫籠窓、袖うだつなど重厚な佇まいが宿場町の面影を今に伝えています。

東見附 ❶
Higashimitsuke

枚方宿の東側の玄関にあたり、近くには七夕伝説の天野川が流れています。



河内名所図会　天川
Amanogawa River, Picture of Noted Places in Kawachi

市立枚方宿 鍵屋資料館 ❽
Hirakata-shuku [post town] Kagiya Museum

「鍵屋」は、約 400 年前に創業されたと伝えられる枚方宿の代表的な船宿でした。

建築年代が 19 世紀の初めとされる主屋は、当時の枚方宿の面影を留める貴重な建築物として、平成 9 年に枚方市の指定有形文化財になりました。

江戸時代の姿に復元した主屋と別棟展示コーナーでは、枚方宿の歴史がわかりやすく紹介されています。

本陣跡 ❼
Former Sire of Honjin [Accommodations]

本陣は、大名・幕府役人・公家など身分の高い人たちが休泊するための施設でした。一般の旅籠と違い、門や玄関・式台・上段の間などが設けられる大規模で格式の高い建物でした。

万年寺山と御茶屋御殿 ❻
Mannenjiyama Hill and Ochaya-goten Palace

万年寺山に位置する式内・意賀美神社は、境内にある梅林が有名です。

このあたりには、豊臣秀吉の御茶屋御殿があったと伝えられています。

河内名所図会　枚方万年寺
Hirakata Mannenji Temple,
Picture of Noted Places in Kawachi

写真提供：平澤英正 氏
Photo by Hirasawa Yoshimasa

淀川資料館 ❺
Yodogawa River Museum

淀川の治水・洪水の記録や舟運、庶民文化の歴史などが紹介されています。

宗左の辻 ❹
Soza-no-tsuji [Crossroads]

東海道（京街道）と磐船街道の分岐点でした。製油業を営む角野宗左家の横にあったことから、この名前が付きました。

岡新町村 ❷
Okashinmachi Village

枚方宿は 4 ヶ村（岡新町村・岡村・三矢村・泥町村）からなり、天野川を渡り、枚方宿の東入口にあたるのが、この岡新町村でした。元文2年（1737 年）の岡新町村の戸数は 91 戸で、そのうち 37 戸が商家でした。

土橋（枚方橋）❸
Dobashi (Hirakata Bridge)

現在は暗渠となっていますが、かつてここには安居川（中川）が流れていました。江戸時代の枚方宿には南北 2 つの「枚方ノ橋」があり、明治時代以降、北の橋は鵲橋、南の橋は枚方橋と呼ばれるようになりました。現在も「枚方橋」と刻まれた親柱の一部が残っています。

English guide
한국어 안내
中文 指南